

事務事業評価表 平成23年度

政策 明日につながる産業の振興  
 施策 都市型農業の推進  
 基本事業 生産性の高い農業経営の確立

事業名 **江別市肥育素牛導入資金貸付事業**

[0876]

部名	経済部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	平成22年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市内肉用牛飼養農業者</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>優良肥育素牛導入時の資金を無利子貸付することにより、農業者の経営の安定化を図るとともに、肥育牛の頭数増を図り、ブランド化支援事業(えぞ但馬牛)を補完する。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>江別市肥育素牛導入資金(江別市農業振興資金特認資金)を設置し、融資機関(農協)が農業者に貸し付ける資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減(無利子貸付)を図る。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	市内肉用牛飼育頭数	頭	851	761	933	
対象指標2						
活動指標1	新規貸付件数	件		0	0	
活動指標2	新規貸付金額	千円		0	0	
成果指標1	資金活用による肥育素牛導入頭数	頭		0	0	
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費(B)		千円	0	415	0	0
総事業費(A)+(B)		千円	0	415	0	0

費用内訳	
22年度	

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	江別の肉用牛生産は、繁殖経営が主体となっていることから、肥育頭数も増やすべく資金面で支援を開始するもの。	事業を取り巻く環境変化	生産者の飼養技術向上及び市・農協のブランド化支援事業の効果により、市場での江別の和牛の評価が高くなる等、ブランドとして着実に成長してきている。
--------	--	-------------	---

## 22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

肥育経営は、肥育牛を換金するまでの資金調達が大きな負担となることから、取り組みやすい条件を提供することにより、肉用牛生産の振興が図られ、市が行うことは妥当であります。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

多種多様な農産物を生産している江別の都市型農業において、中でも「江別えぞ但馬牛」の知名度は高くなっており「小麦「リルユタカ」」に続くブランドとして着実に成長してきているので、産業振興への貢献度は大きいです。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

飼料価格高騰、枝肉取引価格の下落等、肥育による所得の増加が不透明な厳しい状況に直面しているためです。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

市場の動向等に左右される部分が大きいため、現時点で成果の向上は困難です。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

飼料価格高騰、枝肉取引価格の下落等、肥育による所得の増加が不透明な厳しい状況に直面しているためです。